

リズムニュース

米沢市立病院

循環器科

第9号 2008年

最近、大きな施設や駅などに AED(自動体外式除細動器)を見かけます。ペースメーカーが入っている人に心臓マッサージや電気ショックをやってもいいかと疑問に思っている方もいるでしょう。答えは YES です。

今回は心臓マッサージと AED の使い方について説明しましょう。

1、心臓マッサージ

突然意識がなくなり倒れ、呼吸をしてない場合はまず脈を取ってみてください。手首の脈が触れなかったら、首の動脈の脈を触ってみます。どちらにも脈が触れなかったら心停止の可能性があります。ペースメーカーが入っていても心臓の筋肉がその刺激に反応しなくなることはありうることです。直ちに心臓マッサージをしましょう。

＜心臓マッサージの仕方＞

左右の乳首をつないだ線の真ん中より少し下に片手を乗せその上にもう一本の手を載せて4-5cm 沈むぐらいの力で押します。速さは1分間に100回程度ですがおおよそでいいのです。30回押したら人工呼吸を2回しますが、できなければ心臓マッサージだけでかまいません。数分つづけたらもう一度脈がないか確認しましょう。もちろんその間に大声で救急車を呼んでくれるように頼みます。



腹を押すと胃の内容物が吐き出されることがありますから、押さないように注意しましょう。

2、AED(自動体外式除細動器)の使い方

意識がなくなり呼吸も脈もなくなったときには、AEDがあってもまず心臓マッサージが先です。AEDを取り出したり準備したりする時間に、死は刻々と迫っているからです。



AED の箱の中には電気ショック用の機械と体に貼る電極が二つ入っています。電極を貼る場所は電極のおもてに書いてありますが、心臓をはさむように貼ることが基本です。ペースメーカーが入っている方の場合にはペースメーカーの缶(電池)から3cm以上はなして貼ってください。スイッチを入れると操作について音声で教えてくれるので心配は要りません。

呼吸も心臓も止まった人が心肺蘇生をうけない場合、死んでしまう確率は1分間に10%といわれます。救急車を呼んで病院に運ばれるまで10分かかれば、100%死亡するという事です。でも身近にいる人がはやく心臓マッサージを始めていれば、助かる可能性が高くなります。是非この手技を覚えて、身近な人を助けてあげましょう。

付記： ペースメーカーを植え込んだ方が自宅で死亡した場合

病院でなくなった場合はペースメーカーを取り出しますが、自宅で死亡された場合はどうなるのでしょうか。

火葬の際にペースメーカーは爆発しませんが、破裂します。破裂の規模はそれほど大きいわけではありませんが、斎場によっては窯の破損や有害物質の放出などの危険もあるため、取り除いてもらうようにいわれることが多いようです。病院に連絡をいただいても自宅にいける医者の人手がないことが多く、かかりつけ医に摘出をお願いすることが多くなっています。死亡確認が終わったら警察と相談してかかりつけ医に連絡してください。